

2013. 1. 11. 8号 (No.895)

京都府高

京都府立高等学校教職員組合情宣部
発行所/ 京都市左京区丸太町新道上ル 教育会館内
TEL(751)1645 FAX(752)2988 発行人/ 佐古田 博
メールアドレス: honbu@kyoto-fuko.com
HP: http://www.kyoto-fuko.com/

より良い教育と働きやすい 職場をめざし、今年も連帯 して、切り拓こう!

憲法が重要な対決軸 あなたもぜひ組合に!

京都府立高等学校教職員組合 執行委員長 佐古田 博



暮れの総選挙は自民党の「圧勝」となりました。残念ながら、「諸悪の根源は憲法だ」という維新の会とあわせ、「改憲」「国防軍」などを唱える改憲勢力が多数を占める国会となります。憲法が重要な対決軸となることは明らかです。

幸い憲法は私たちの手にあります。65年の風雪に耐え、なお輝きを失わず、その大切さに多くの人々が心を寄せています。九条の会のとりくみや子どもたちを貧困と格差から守る運動がいっそう重要性を増すでしょう。

う。2013年のはじめにそのことを強く感じました。

組合の意義が大きくなっています。退職手当の逆転問題では職場の怒りが吹き出しました。ある支援学校からは、「今まで署名したことない人が『あんまりやわ』としてくれた」との手紙付きで緊急署名が送られてきました。その怒りを背景に私たちは年末交渉をたたかいました。

組合があつてこそ、多くの仲間とともに権利や働きがいを高めることができます。「あなたもぜひ組合に!」



青年、ベテランが手を つなぎあって

新採者の皆さんより

中田 愛さん (盲学校)

笑顔と元気をモットーに、今年もたくさんの人との出逢いを大切に、そして人との繋がりを深めていきたいです。



▲特別支援学校対抗バドミントン大会での中田さん(右)と谷川さん

谷川 萌さん

(盲学校)

2年目。まだまだフレッシュに! 生徒はもちろん、先生や保護者の方々、いろんな人とふれ合い、寄宿舎を学校のみならずに知ってもらえるように頑張っていきたいと思います!

久古 美果さん (南山城支援学校)

新年明けましておめでとうございます。気づけば、4月に南山城支援学校に来て早10ヶ月が過ぎようとしています。慌ただしい日々ですが、生徒が成長する姿を側で見ながら、私自身も「負けてられないな」という思いを持って授業を行っています。

太田 朋美さん

(中丹支援学校)

2012年は私にとって転機の1年となり、4月からは社会人1年生としてバタバタと、本当にあっという間に過ぎてしまいました。まだまだ未熟ではありますが、子どもとともに成長し、よりよい授業ができるよう邁



▲特別支援学校対抗バドミントン大会、中丹オリジナルユニホームで活躍の太田さん

進みたいと思います。

定年退職の皆さんより

山根 直さん (南丹高校)

1日の重さを痛感しながら、味わいながらラストパートに入りました。語り尽くせぬいろんな事がありました。あつという間の32年(プラス講師の3年間)。つい、この間まで青年教職員だったのですが、いつしか、「怒り」の多い、教員人生になりました。それでも、若い生徒を相手に働けることは幸せです。最後まで、引退気分ではなく、真っ向勝負で取り組んでいきたいものです。



出口 勝巳さん (工業高校)

石原高校の勤務から始めて、41年目を迎えます。組合は就職すれば入るのが当たり前、何も考えずに入りました。働くものとして団結は必要という考えは今も変わりません。



若い頃は、組合の青年部で海に山にスキーに仲間とレクリエーションに参加し、楽しかったです。又、青年教研も府教委と共同でしたことも昔の思い出でになりました。

平成になってからは、ロボットづくりに没頭しました。ロボット相撲では全国大会(国技館)に出場、高校生ロボット競技(アイデアロボコン)大会では生徒と一緒に全国の都道府県に出場し、ものづくりを楽しみました。いろいろ苦しい事、いやな事がありましたが、ものづくりで喜びを体験できたことや助けてくれた仲間の支えで、今日を迎えることが出来ました。ありがとうございます。今後は、区切りをつけて、田園、旅、陶芸に舵をきり、別の世界でチャレンジをしたいと思います。

※編集部 出口さんは実習助手採用で働きながら大学に通い、免許も取られ、現在、実習教諭で定年を迎えられます。

宮下 恵美子さん (聾学校)

定年を迎えますが、終わるのではなく、新しい人々との関わりを広げる時と考えたいと思います。教員生活から離れてしまいましたが、これからも教育の原点である「平和」や「憲法」「人権」という言葉には敏感でいたいと思います。



障害児教育研究センターでの“学びの共同”

「発達基礎講座」、「障害や認知が重度の子どもの実践交流」、「自閉症の子どもの実践交流」、「若い教職員の語り合う会」など豊かな教育実践を求め、青年教職員のレポートを軸に、青年とベテラン、府立と市立、障害児学級の先生が共に学び合っています。次回は2/9(自閉症の子どもの教育)、2/16(障害の重い子の教育と発達について)です。お気軽にご参加ください。



12 / 15 発達基礎講座での学び合い

これからの教育と学校、教職員の働き方…

「府立学校 2012年度の新採者アンケート」が示すもの

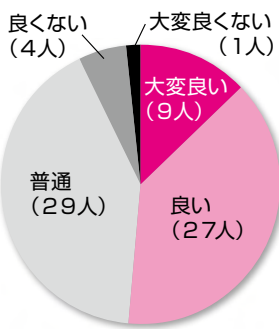
今年度の9月～10月に府立学校の新採者の皆さんに、勤務条件や研修等についてアンケートを行いました。全体で70人の方から回答がありました。ご協力頂いた皆さん、ありがとうございました。

アンケート結果は、既に府高交渉や京教組交渉で使いましたが、今回は「これからの教育と学校、教職員の働き方…」を考える素材としました。新年のスタートにあたり、ご一緒に、今年、来年、未来を考えましょう。

<回答者の内訳>

年 齢	20代 (49人)	30代 (19人)	40代以上 (2人)
性 別	男性 (28人)	女性 (42人)	
校 種	高校 (33人)	中高一貫 (2人)、特別支援 (35人)	
臨時教職員の経験	あり (43人)	なし (26人)	未記入 (1人)

Q1 現在の健康状況はどうですか？



VOICE

※他の項目も含め、非常に多くの記述でしたので、特徴的なものだけを紹介しました。ご了解下さい。

- ・研修で出勤しないことが多く、クラスの様子心配な時があります。(高校、20代、女性)
- ・休みは少ないですが、職場環境がよく、過ごしやすいです。(高校、20代、女性)
- ・心的な負担はないが、土日出勤(部活)で休息が充分にとれないです。(高校、20代、男性)

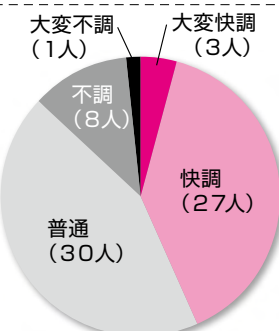
- ・授業の用意等、周りの先生方が手伝って下さったりして、仕事をたくさん、抱え込まずに済んでいるので健康です。(特別支援、20代、女性)
- ・何かあった時、困った時に相談できるベテランの同僚がいます。また、日頃から気にかけて、声をかけて頂けるので助かっています。不安、心配をためこまないでいるので、精神的に落ち着けて毎日、臨めています。同期の初任者が病休中なのが、気にかかります。(特別支援、30代、男性)

▶組合として思うこと①◀

10月末に新採者アンケートについて、ある府立高校に行き、3人の新採Tと懇談しました。ベテランT2人も同席で1人の方は手作りケーキを準備、もう1人の方は熱心に話を聞いておられました。話の内容は厳しく、新採のAさんは途中で涙されました。残り5人が何とか、解決できる方法はないかと智慧を出し合いました。が、明確な解決策は出せません。最終、新採Bさんの「来年の新採者には、同じことが起こらないことを望みます」で1時間半が終了。終わると、3人の新採Tは和やかな感じで職員室に向かっていました。振り返ってみると、3人の新採Tはみんな自分の考えをしっかりと出していました。外は寒かったですが、帰り道は暖かい気持ちでした。

(本部 馬場)

Q2 府教委は常々から「教職員のモチベーションが大変重要」と言っていますが、現在の気分はどのような感じですか？



VOICE

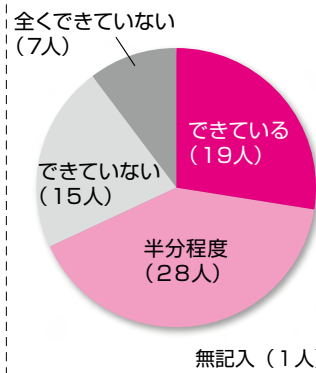
- ・大変だけど、楽しいです。(高校、20代、女性)
- ・非常に心労を伴う仕事を任されているため、なかなか成果が出ずにしんどいです。(高校、20代、男性)
- ・気持ちは熱いのですが、身体をついていかせることで必死です。汗。(高校、40代、女性)
- ・色々な仕事があまく進まない時があり、こなすだけになってしまっています。(特別支援、20代、女性)

- ・仕事に行くことがしんどいと感じることがあります。また、職場の雰囲気あまり良くないと感じることがあります。(特別支援、20代、女性)
- ・雑務に追われてしまうことが多く、本来、力を入れたいところに充分エネルギーを注ぎていない現状です。自分の力不足故のことですが。(特別支援、30代、女性)

▶組合として思うこと②◀

新採者も学校卒業すぐの人から、臨時教職員を経た30代、40代と幅が広がっています。健康気分、働き方については「自分の力不足」「自分の能力がないために」と回答している人が一定数あり、この回答は若年層にいくほど多かったです。最高裁判所は京都府教組「高橋裁判」の判決で「新採者がうまく仕事をこなせないことは当然」と結論づけています。

Q3 法令にも規定された1日45分の休憩時間は確実に取得できていますか？

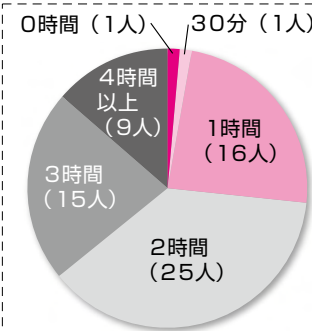


VOICE

- ・昼休みに、掃除の監督があたっているため、全く取得できていません。(高校、20代、男性)
- ・食事をとったら、授業以外の時間は分掌業務など、他の仕事にあてるため、取れません。(高校、30代、女性)
- ・クラスが回らないかな？ 本気でとろうとなっていないからかもしれません(特別支援、20代、男性)

- ・45分休むと、その分、帰るのが遅くなるので、休憩しつつ、仕事をしています。(特別支援、20代、男性)

Q4 教職員の労働時間は府条例で1日7時間45分となっていますが、実際の超過勤務は1日平均、どの程度ですか？



VOICE

- ・部活のために、必ず超勤となります。(高校、多数)
- ・部活、分掌の仕事をしていると、どうしても、4時間以上の超勤となります。(高校、20代、男性)
- ・仕事をしてしまう。もう少し、早く切り上げようと思います。(高校、20代、女性)
- ・時期によって、帰る時間は違いますが、最近キリをつけて帰ります。(高校、20代、女性)

- ・次の日の授業準備等、手際よくできていません。(特別支援、20代、女性)
- ・自分の要領が悪い。授業に手を抜きたくありません。(特別支援、20代、男性)

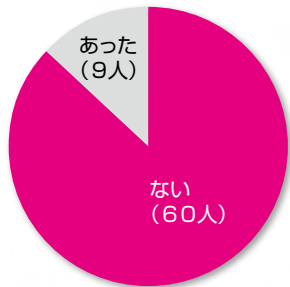
- ・毎日、何かしらの会議があるため、自分の仕事をするのは5時以降となります。また、あまり遅くまで残れないため、朝1時間ほど、早く来て仕事をしていません。(特別支援、30代、男性)

▶ 組合として思うこと③ ◀

「平和で民主的な社会の形成者」を育むことが教育の目的です。社会の形成者の大多数は労働者です。人類の進歩の中で獲得した労働基準法には「1日8時間、週40時間（府条例は7時間45分、38時間45分）」「超勤には超勤手当を支給」が明文化されています。子どもは大人の背中に大きな影響を受けます。公務員、教職員の「責任感」や「良心」を利用した違法な「ただ働き」をただしていきましょう。

Q5

昨年度の府教委アンケートにおいて、京都府の教職員では4人に1人が「パワハラを受けた、見た、聞いた」と回答していますが、あなたもしくは周りの方で、パワハラはあったでしょうか。



VOICE

- ・パワハラかどうかの判断が難しい。年配の先生方からの「少し厳しいお願い」が上手く断れず、苦しい思いをすることがあります。(高校、20代、女性)
- ・パワハラしている人が、パワハラを認識できていないと思います。(高校、20代、男性)

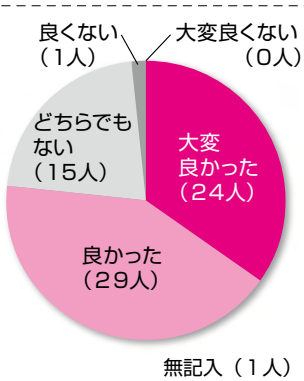
- ・管理職の先生が教職員の年休取得数を全く把握しておらず、契約期間終了後に出勤を求められたことがありました。(特別支援、20代、女性)
- ・年齢や立場が上の人に言われたら、なかなか断れません。誰に相談したら良いか、分かりません。(特別支援、20代、女性)
- ・臨時教職員に対して「来年度の採用に関わるから、言うことを聞くように」強要することがあります。(特別支援、30代、男性)
- ・健やかな心の人ばかりではありません。それぞれが、いろいろ抱えているから、起こると思います。(特別支援、30代、女性)

▶ 組合として思うこと④ ◀

パワハラは、分かってやっているのか、分からずやっているのかを明確にすることが大切です。府高女性部で強調されているように、「気軽に指摘できる、指摘し合える職場づくり」が必要です。同時に「虐待の連鎖」同様、「八つ当たり」の根源になっている職場環境の悪化（運営、定数など）をストップ、改善していくことが不可欠です。

Q6

今年から、初任研ノートが実質廃止で「ファイル形式」となりましたが、どう思いますか？



VOICE

- ・去年のことが分からないので、比較できない。(多数)
- ・負担が軽減し、時間的余裕ができ、教材研究等の時間に当てられます。(高校、20代、男性)
- ・負担が単純に減りました。ただ、それでも、まだ負担を感じています。(高校、20代、男性)
- ・研修のノートのまとめまでは手が回らない、時間がありません。(高校、20代、女性)

- ・ノート記入の時間が、教材研究等の他の仕事をやる時間に回せます。日常の仕

- 事が第一優先として、とりくめます。(特別支援、20代、女性)
- ・ノートを書くことに時間が取られなくなり、子どもにより目が向けられます。(特別支援、30代、男性)
- ・比較できませんが、これまでの人から「大変だった」と聞いています。(特別支援、40代、女性)

▶ 組合として思うこと⑤ ◀

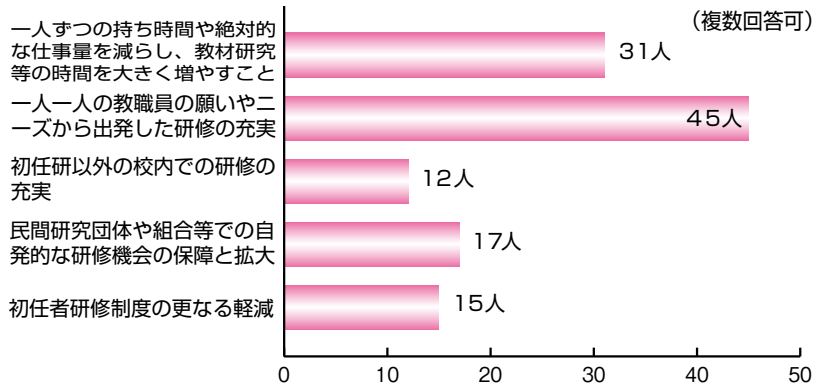
初任研ノートの実質廃止、ファイル化は京教組青年部が中心になり、その廃止を強く求めた中で実現しました。不満も願いも出すことで、変わる可能性が生まれます。



8 / 21京教組青年部府教委交渉

Q7

教職員にとって研修は極めて重要です。希望する研修について、丸を付けてください。



VOICE

- ・教員と職員合同の研修では、教員目線の内容が多く、事務職員としての立場に置き換えにくいと感じることがありました。事務の職員に関する研修をもっと増やしてほしい。(高校、20代、女性)
- ・校内研修の時間が多く、大変、つらいです。内容が校外研修ともかぶっています。(高校、20代、女性)
- ・学校により、環境が全く違う。正直、蚊帳の外と感じる研修内容もありました。(高校、20代、男性)
- ・もっと、実際の先生方がされている実践を知りたい。(特別支援、20代、男性)
- ・北部の学校は、センターへの移動時間を考えると、超過勤務になっている。北部と南部で分散を増やしてほしい。(特別支援、30代、男性)
- ・大きな研修を開いて、当日、寝ている人がいるのでは意味がないと思う。グループのベテランの指導者、退職された方の話も聞きたい。(特別支援、30代、男性)
- ・初任研の講師の方の中には、全校種対象の時、特別支援への呼びかけがなかったり、必ず最後に付け足しだったり、「一般校に学んで」という発言があったりと支援学校がセンター化と掲げながら、暗に特別支援は一部の限られた子対象の別枠のような印象を新採者に刷り込んでいるように感じる。(特別支援、女性)

▶ 組合として思うこと⑥ ◀

昨年度の文科省優秀教員受賞者のアンケートでは「自主的な研修」や「民間研」が自分にとって、最も重要だったと答えた人が多数を占めました。この間、組合での「センセのがっこ」や障害児教育センターの発達学習会等に参加する人が増えてきました。京都では1986年に全国に先駆けて、初任者研修制度が実施されました。この時の組合の主張は「強制反対」「職場での対等での学び合い」でしたが、この考えは今も同じです。また、同時進行で指導主事強制訪問もありましたが、これも10年ほどで実質廃止となりました。初任者の皆さんの回答は中堅やベテラン教職員とも基本は同じで、歴史と未来を明確に映しています。

運動の中で前進 しかし、もっと大きな声が必要

秋季年末
確定交渉の
まとめ

たくさんの署名や交渉参加、ありがとうございました。交渉では遠く北部からも多数で参加頂き、ありがとうございました。長く続く公務員バッシングの中でも、運動によって貴重な前進を勝ち取ることができました。

しかし、総選挙では安倍自民党が勝ったことや明確な補完勢力である日本維新の会が50議席以上を得たことで、今後、学校と教職員にはより一層の厳しい状況が待ち受けています。跳ね返す力は、やはり教職員・労働者の団結です。

府立学校関係での成果と課題 (12/21京教組交渉時点)

基本賃金	退職手当	臨時教職員の賃金・権利	子育て支援、権利、 労安、福利厚生	賃金リンクの評価制度
<p>○42～43歳以下の若年層は、ほぼ月額900円アップ。年額では16000円アップ。大卒新採者なら生涯賃金で480万円アップ。</p> <p>○高齢層では現給保障の継続と55歳以上の昇給ストップを阻止。</p> <p>●全体としては、平均0.1%の賃金カットと特手手当(美山分校、伊根分校)の半額カット。</p>	<p>●400万円以上の退職手当カット(3段階)。…この流れの最大被害者は中堅、青年教職員。</p> <p>○2月末定年退職の選択では現行通りの退職手当支給及び継続雇用が確保できたこと。</p> <p>○3月末定年退職では人間ドックや共済組合事業の一部補助を実現。しかし、今後も格差是正が必要。</p>	<p>○賃金では一部非常勤(事務職、介助職、業務補助)の報酬単価アップ。</p> <p>○病休者が更新する場合の代替教職員を継続雇用。</p> <p>○高校27H講師(通年任用)の年休繰り越しが可能。</p> <p>○27H非常勤の妊娠時の通勤緩和適用(無給)</p> <p>○非常勤の子育て休暇適用(5日間、有給)</p>	<p>○子育て休暇の範囲を拡大し、特別支援学校の高等部在学者も適用可。</p> <p>○各職場での健康管理医が、報酬の大幅アップで産業医配置になり、教職員の健康づくりのための任務が明確化。</p> <p>○超勤縮減のための勤務時間計測が1月からスタート。</p> <p>●共済組合事業の改悪(掛金引き上げ、支給の減額、結婚手当金廃止など)</p>	<p>●○2013年4月からの実施方向、勤勉手当への反映は2013年の12月、査定昇給への反映は2014年1月から。</p> <p>○大阪のような賃金抑制、教職員間のチームワーク破壊や超勤促進のための評価制度は基本的に持ち込ませていない。</p> <p>○総体として、教職員の賃金改善につながる。</p>

「教育のつどい」みんなで考え、 みんなで学び合おう

1/26(土)～27(日) 場所、京都教育文化センター。27(日)は京都市職員会館「かもがわ」とキャンパスプラザもあり。

1日目、全体会 記念講演

世取山洋介さん(新潟大学)。自民党政権下でのこれからの教育を考えます。記念講演後、映画「ひまわり」の上映(鑑賞費1000円)。

2日目、分科会

校種別、教科別、問題別等、27の分科会で学び合います。障害児教育はキャンパスプラザ京都で半日のみです。

35歳以下の府立学校の教職員の皆さんには、当日使用限定の500円の書籍購入援助金カードを差し上げます。該当の方は、1日目全体会の府高受付で申し出てください。

映画「ひまわり」

1959年に沖縄で起きた米軍ジェット戦闘機の墜落事故をテーマにした映画です。小学校の児童が11人も亡くなった事故でした。

「国防軍」の設置、「集団的自衛権」の行使、憲法9条の改悪などを主張する自民党の安倍政権になり、命と平和を守るたたかいは、かつてなく大きくなっています。かつての安倍政権では2006年の教育基本法の改悪と合わせて、教員免許更新制と全国一斉学力テストの実施が強行されました。

これからの教育と学校を考える上で、ぜひ、多くの教職員、とりわけ、青年教職員の皆さんに観て頂きたい映画です。現在、上映協力券を1000円で販売中です。府高本部に申し込んでください。



健康で快適な 職場づくりを進めよう！ メンタルヘルス連続講座を開催中

昨年4月、教職員のためのメンタルヘルス研究会を立ち上げました。9月からメンタルヘルス連続講座を開講しています。「メンタルヘルスで苦しむことのない職場にしたい」「なんとかサポートできないか」などメンタルに関心のある教職員が自由に参加しています。講師は産業カウンセラーの大槻久美子さん。参加者からは「楽しかった」「スッキリした」「とても勉強になった」等の声が出ています。次回は最終回で2月2日、テーマは「新型うつ」「発達障害」です。参加費500円、お気軽にご参加ください。

ぜひ、皆さん、教職員組合にご加入ください。

〈組合加入申込書〉

京都府立高等学校教職員組合執行委員長 佐古田 博 様
年 月 日

職場名				名前		
職名	生年月日			給与号給		
住所				電話		

★正規教職員の組合費月額額は「給料月額×(1+地域手当率)×0.022」です。39歳以下は1,000円引き。臨時教職員の非常勤は500円、常勤は1,000円、再任用者はフル4,000円、ハーフ2,000円です。

今日の学校現場での組合の意味はより一層、増していると考えています。加入のメリットは、何よりも、「連帯の力」が持てることです。ぜひ、多くの皆さん、ご加入ください。

京都府高をお読み頂き、ありがとうございました。ご意見、ご感想をお気軽に組合員や府高本部(メール、電話、ファクス等)にお寄せください。